

— Rotary Opens Opportunities —



# OSAKA ROTARY CLUB

## Weekly Bulletin

創立 大正11年(1922)11月17日 ◆復刊週報第1号発行 昭和24年(1949)4月  
 事務所 〒530-0005 大阪市北区中之島5-3-68 リーガロイヤルホテル内 Phone 06-6448-1121  
 URL <http://www.osaka-rc.org/> E-mail [secretariat@osaka-rc.org](mailto:secretariat@osaka-rc.org)

例会 毎週金曜日 12時15分 リーガロイヤルホテル  
 会長 堀 正二 幹事 江藤 克二 クラブ会報委員長 藤井 達郎

2020～21年度

国際ロータリー会長  
Holger Knaack国際ロータリー 第2660地区  
ガバナー 簡 仁一

2020年9月18日(金) (第4,764回) 例会

「大阪の逆襲」と  
 「大阪が日本を救う」を出版して  
 ～高まる大阪への期待

(株)日本総合研究所  
 調査部 マクロ経済研究センター  
 所長 石川 智久氏

私は「大阪の逆襲」と「大阪が日本を救う」という本を、5月と8月に出しました。なぜこれらの本を書いたかという、いろいろなランキングを見ると結構大阪が上位に入っていて、それがあまり世の中に知られていないという不満がありました。「世界の都市の安全性ランキング」では3位。「世界都市活力ランキング」では1位、などです。

大阪にいたときには、これがなぜ知られていないんだろうといういら立ちみたいなものがありました。そのいら立ちをいろんな講演会でしゃべっていると、「おもしろいね」という話になって、やっと本が書けました。

◇ この4年での発信が重要に ◇

お陰様で両方とも1万部ぐらい売れており、

10月9日(金) (第4,767回例会)の卓話

西日本旅客鉄道(株)  
 総合企画本部 MaaS 推進部  
 MaaS 企画室長 神田 隆氏

「MaaS (Mobility as a Service)  
 の取り組み」

(プログラム担当 井上 浩一 君)



それだけ大阪・関西にはかなり勢いがあると思っています。きょう一番言いたいことは、大阪・関西に勢いがあるので、それをどんどん大きくしていきたいということです。

実は私が書いたような、等身大の現在の大阪の経済についての本というのは、この10年ぐらい出ていないそうです。「万博のような全国的、世界的なイベントでもない」と大阪本は出しにくい」と編集者から言われました。ということは、万博まで、これから2025年までがチャンスです。4年ちょっとあればいろいろなことができます。この4年をうまく使って、先進的で、すばらしい大阪・関西というイメージを、日本、そして世界にどれだけ発信していくのがとても重要になると思います。

「2025年大阪・関西万博の意義」について、私の考えを少し説明します。私はこのコロナ

次回10月16日(金)の卓話

気象予報士 南 利幸氏

「目からうろこの天気予報」

四つのテスト I 真実かどうか? II みんなに公正か? III 好意と友情を深めるか? IV みんなのためになるかどうか?

禍を踏まえて、2025年万博は歴史的な万博になると考えています。

来年ドバイ万博が行われます。1年延期しましたが、今準備しているものをやるのが精一杯かと思えます。2025年は、このコロナも収束しているでしょうし、新しい生活が見えてくるはずですが、一体何が残って、何が変わってというのが見えてくる。本当にポストコロナの新しい世界を示せるチャンスとなると思います。

もう一つ、内向きとなっている日本人に、世界の現実を見せるということもあるかなと思っています。若い人ほどあまり海外旅行しないとかわれますが、万博を開催すればどんどん世界中から人が来ます。

#### ◇一極集中を止めるチャンス◇

あともう一つは、東京一極集中を止めるチャンスがやっとやってきたと考えています。今回のコロナを見て、弊社の中でもやはり東京一極集中の弊害は大きいよねということが議論されています。一極集中を止めるためには、どこの国でもそうですが、2番手都市、3番手都市の元気がないといけないのです。関西・大阪が元気がないと東京一極集中は止まらない。そのチャンスじゃないかなと考えています。

今回の万博で何を指すべきか、ということも考えたいと思います。私の中では「矛盾や対立事項との共存」、「古いものと新しいものの融合」といった万博になっていくのではと思っています。多分一番大きなテーマはオンラインとオフラインの融合になっていくと思います。コロナがあって、世の中のもの全てが全てオンラインになっていくかというところ、半年たってみて、オンラインに変わっていくものと、変わらないものがちょっと見えてきたと思います。今度の万博ではオンラインとオフラインを組み合わせて、どれだけ楽しい世界、安全な世界が作れるのか、といった融合が非常に重要になってくると思います。

私は今東京で仕事をしています。東京でこのような話をするのは、あまりありません。大阪に来るとこういった話をします。つまり今、大阪・関西の人というのは、日本の中で一番未来のことを考えていると言えます。目

の前の仕事ばかりでなく、万博を通じて未来を考えています。だからこそ新しいビジネスが大阪・関西で生まれるんじゃないか、と考えています。

#### ◇万博を未来社会への通過点に◇

最後に2025年「以降」に向けてということ、われわれは万博に間に合わせないといけないのですが、大事なことは2025年以降の未来の姿を思い浮かべて、万博を通過点にしていくということだと思います。

いい例は1986年のバンクーバー万博です。バンクーバーは港湾都市で物流拠点でしたが、万博を通じてコンベンション都市や情報拠点への移行という将来図を描いて、その通過点で万博を位置付けました。2025年の万博もやはり未来社会はどうあるべきか、大阪がどうありたいか考えて開くことが重要です。

具体的に検討すべき事の中では、特に夢洲を世界最高水準のスマートシティに変えていくということが大事だと思います。スマートシティは地方創生の切り札になり、国として各地域を盛り上げるために考えているのがスーパーシティ特区だといわれています。夢洲は成功する可能性が高い地域ではないかと考えています。

2025年以降の絵姿をどうやって描くの？ということを考えるときに私なりの答えは、ベンチマークを決めることだと思います

個人的には、特に大阪にフィットしているのはバルセロナじゃないかなと思っています。バルセロナはオリンピックを契機にビッグイベントを使って街をどんどん変えていきました。非常に参考になると思います。

今、全国からも大阪・関西に非常に関心が高まっています。ぜひとも皆様と協力して、よりよい大阪・関西をつくっていきたくと思っています。

(スライドとともに)

---

卓話者紹介：1997年住友銀行入行。三井住友銀行経営企画部金融調査室次長(大阪)、日本総合研究所調査部関西経済研究センター長等を経て2019年7月より現職。兵庫県資金管理委員会委員、大阪府「新たな戦略策定に向けた有識者懇話会」委員など。

## ◇ 例 会 記 録 ◇

国内ゲスト 1名  
石川 智久氏 クラブゲスト:本日のスピーカー  
国内各クラブよりの来訪者 2名  
佐伯 良一氏,永通 明温氏(以上,大阪心斎橋)  
出席会員 172名※(内4名免除会員)  
※特別出席規定免除申し出会員含む  
欠席会員 63名  
出席規定免除会員 28名  
会員総数 259名 出席率 73.19%  
前々例会(9月4日)の補正出席率 81.86%  
本日のプログラム司会:江崎 勝久君



### Niko-Niko Box

佐伯 良一様(本日のビジター)  
当クラブ50周年を迎えるにあたり,会長,幹事,  
立野様,樋口信様にご挨拶に伺いました。宜  
しくお願い申し上げます;

平澤 範雄君(宗 教)  
大阪心斎橋RC佐伯さんの来訪を歓迎して;  
角元 敬治君(銀 行)  
有馬 高司君(銀 行)  
石川さんの本日の卓話に期待して(以上2件);  
領木新一郎君(ガス供給事業)  
卒寿のお祝いをいただきましたお礼まで;

大町 慶華君(宗 教)  
この度,9/22(火・祝)午後7時30分からの  
NHK「サラメシ」に難波別院が出ます;

佐々木秀樹君(出 版 業)  
スマホを自宅に忘れてきました。不安です…  
後ろめたさはありませんが!念の為!;

松田 憲二君(電池製造)  
ちょっと良い事がありました;



### 【みおつくし奨学金】

(宮古との奨学金制度にのみ使います)

蔭山 秀一君(ホテル・旅館・料理店)  
石川智久様の卓話に期待して。「Go Toトラ  
ベル」はじまります。当ホテルも格安商品  
を用意しました。出口にパンフレットを置か  
せていただきましたので宜しくお願いします;

茨輪会参加者一同(9/13(日))  
久しぶりの会を32名で楽しみました;

山中 直理君(非鉄金属販売)  
家族が発熱した為,茨輪会を当日キャンセル  
し申し訳ございませんでした。お陰様でPCR  
検査結果は陰性でした;

## ◇ Members News ◇

### 今週のHappy Birthday!

川嶋 真君(硬貨製造)	10月3日
三田 周作君(旅行業)	10月3日
野々村祝夫君(泌尿器科医)	10月3日
辻 卓史君(自動車運輸業)	10月3日
辻 芳樹君(教育)	10月3日
笠谷 昌宏君(金物製造)	10月8日
扇谷 迪宏君(非鉄金属販売)	10月8日

高杉 英一君(研究・教育)  
目があいましたので;

## ◇ Club News ◇

### 委員会等

会員選考(職業分類)委員会 9月18日  
規定委員会 9月18日  
オンラインテーブルミーティング  
開催手順説明会 9月18日

### 地区職業奉仕委員長会議

(2020.9.5(土)13:00~於:大阪YMCA会館)  
本会議はコロナ禍中のためライブ配信され,  
クラブ出席者77名(内オンライン参加44名),  
地区関係者出席38名,出席予定者計114名だ  
が,若干名欠席で115名の出席者であった。  
今後,地区会議はライブ配信でオンライン出  
席の増加が予想される。

出席者紹介後,簡仁一ガバナーから「感染  
対策を講じ初ライブ配信での会議とした」旨  
の開会挨拶,西辻地区職業奉仕委員長から  
「本会の趣旨説明と今年度の活動方針・活動  
計画」について説明があり,木下地区職業奉  
仕副委員長から「職業奉仕とは何か,ロータリー  
の目的」について話があった。

各クラブ職業奉仕委員長が行う卓話モデル  
について,当クラブ高橋秀一郎会員を含む3  
名の地区職業奉仕副委員長から実演があっ  
た。そして職業奉仕活動の事例紹介が,大阪  
北RCから「出前授業や職場見学の実践例の  
紹介」と八尾RCから「外部講師による経費削  
減の勉強会や企業訪問で会員経営者の経営哲  
学を学んだ事例の紹介」が報告された。

最後の四宮直前ガバナーの講評では,「各  
クラブの委員長は3つのモデルの中から選ぶ  
卓話を実践するよう」に指導があり,議事進行  
がスムーズで予定より約30分早く閉会。

(職業奉仕委員長 塩野 秀作)

## 職業奉仕・出前授業

(2020.9.10(木) 於:大阪国際学園大和田高等学校)

14時15分に講師全員が大阪国際大学・短大1号館に集合。多忙な中、引き受けていただいた講師の皆さんと出前授業の準備をしていたいただいた学園関係者の皆さんに職業奉仕委員長としてお礼を述べた。

次に当クラブ会員の奥田<sup>吾</sup>理事長から、今年度も楽しみの出前授業を是非お願いしたいので、大学休校中にコロナ禍の中、感染防止対策が十分に取れる大学の広い教室を利用することにしたことと、塩野の先祖が中心となって創立した道修薬学校の流れを汲むのが大阪国際滝井高等学校であり、不思議な縁を感じるとお話しがあった。清水校長先生から「毎回の出前授業に感謝しています」とご挨拶をいただいた後、奥田<sup>吾</sup>理事長、清水校長先生と講師9名の集合写真を撮影。対象は2年生260名を9クラスに分け、14時30分からの1時間50分の授業を行った。教室は新しく最新のIT機器が完備され多人数収容の教室に生徒17～46名であり、感染予防策は十分であった。

今回の出前授業を受講され良い意味で高校生が今後の人生に想いを巡らせて進路を考える機会になれば幸いです。

(職業奉仕委員長 塩野 秀作)



協力会員一覧 (敬称略・アルファベット順)	
講師	タイトル
堀 正二	新型コロナウイルス・パンデミックと医療人
三田 周作	日本を元気にする「観光」
岡田 東一	地球温暖化と気候変動
佐川 泰宏	仕事の選び方
佐野 吉彦	建築と都市はどう変わるか
佐藤 文三	癌と向き合う
塩野 秀作	香料を知ると人生が楽しくなる
高橋秀一郎	映画のしごと
高杉 英一	ニュートリノと小柴・梶田のノーベル賞

## 会長の話⑥一堀 正二会長

「ウイルスは生物か？」

ウイルスとは「核酸(RNAまたはDNA)を包むタンパク質の外殻(カプシドまたはエンベロープ)からなる粒子」と定義されます。一方、生物の定義は「①自己複製する、②細胞で構成される、③代謝を行う」の3つが基本要素と定義されます。ウイルスは増殖はしますが自己複製はしません。細胞は、外殻の中に、遺伝子すなわち核酸のみならず、タンパク質を含んでいますが、ウイルスはタンパク質を含んでおりません。ましてや、細胞内で、化学反応のような代謝をすることもありません。増殖するので、一見、生物のように思われていますが、ウイルスは「生物ではない」というのが正解です。

ウイルスの増殖方法は、細胞に感染して細胞内に入り込み、細胞のエネルギーを使い、細胞の代謝系を利用してウイルスの構成成分を複製します。ウイルスは細胞に感染しないでは何をすることもできない寄生虫のようなもの。細菌も宿主細胞に感染して増殖しますが、細菌は細胞体ですので、明らかに生物。これが、ウイルスと細菌の大きな違いです。

ウイルスが原因となる代表的な感染症は、風邪(感冒)、インフルエンザ、水疱瘡、おたふくかぜ、エボラ出血熱など。風邪を引き起こすものとして、ライノウイルスとコロナウイルスが代表的で、風邪の10～15%がコロナウイルスと考えられています。

コロナウイルスは1960年代に発見されました。最初に発見されたのは、鶏の伝染性気管支炎ウイルスと風邪を引いたヒト患者の鼻腔からの2つのウイルスで、後にヒトコロナウイルス229E及びヒトコロナウイルスOC43と名付けられました。風邪のウイルスや、2002年の重症急性呼吸器症候群(SARS)、今流行している新型コロナウイルスは、SARS関連コロナウイルスに分類され、'12年に流行した中東呼吸器症候群(MERS)はMERSコロナウイルスと分類されています。

SARSは、中国広東省のコウモリが自然宿主であり、MERSはヒトコブラクダが宿主であることがわかっています。新型コロナウイルス感染症は中国武漢近郊の鯉山に生息しているコウモリが自然宿主ではないかと考えられています。(2020年9月11日(金)例会)